

Publication of Unexamined Utility Model Application

Publication Number: H4-84138

Container for Packing

A container for packing characterized in that a reinforcement material is set in the upper part inside of the container, and plural holes penetrating the material and the wall of the container are made.

Explanation of marks in the Figure

2 Goods

15 Container

17 Reinforcement material

18 Holes

⑫ 公開実用新案公報 (U) 平4-84138

⑬ Int. Cl.
B 65 D 19/20識別記号
6916-3E

⑭ 公開 平成4年(1992)7月22日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 包装容器

⑯ 実 願 平2-126453
⑰ 出 願 平2(1990)11月30日

⑱ 考案者 本多修 東京都新宿区南元町8番地 菱電運輸株式会社包装技術センター内

⑲ 考案者 斎田栄作 兵庫県尼崎市塚口本町8丁目1番1号 三菱電機株式会社伊丹製作所内

⑳ 出願人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

㉑ 代理人 弁理士曾我道照 外5名

㉒ 実用新案登録請求の範囲

被搬送物を収容する容器本体を備えている包装容器において、前記容器本体の上部に補強材が設けられるとともに、前記容器本体の壁面と前記補強材とを貫通した複数の貫通孔が設けられていることを特徴とする包装容器。

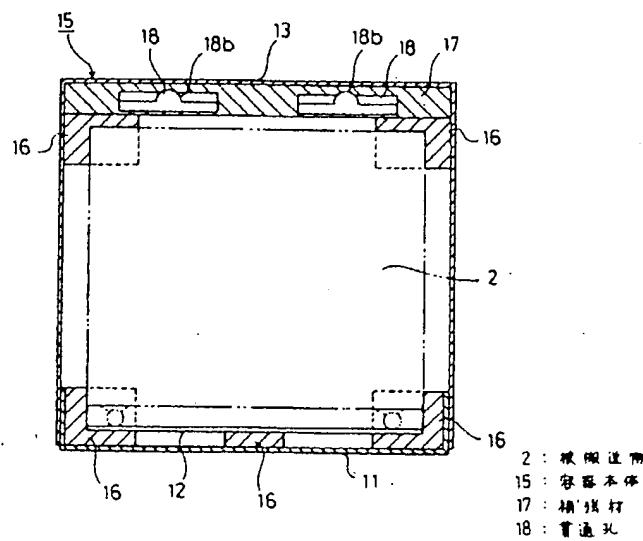
図面の簡単な説明

第1図はこの考案の一実施例による包装容器の断面図、第2図は第1図の包装容器をフォーカリ

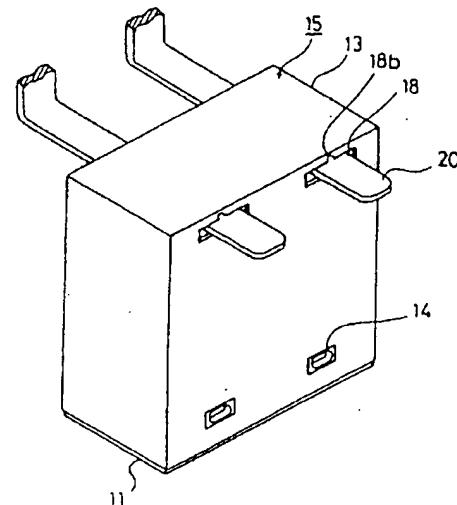
フトにより支持した状態を示す斜視図、第3図は第2図の要部断面図、第4図は第1図の包装容器の要部を切断して示す斜視図、第5図は従来例を示す分解斜視図、第6図は第5図の組立状態を示す斜視図である。

図において、2は被搬送物、15は容器本体、17は補強材、18は貫通孔である。なお、各図中、同一符号は同一又は相当部分を示す。

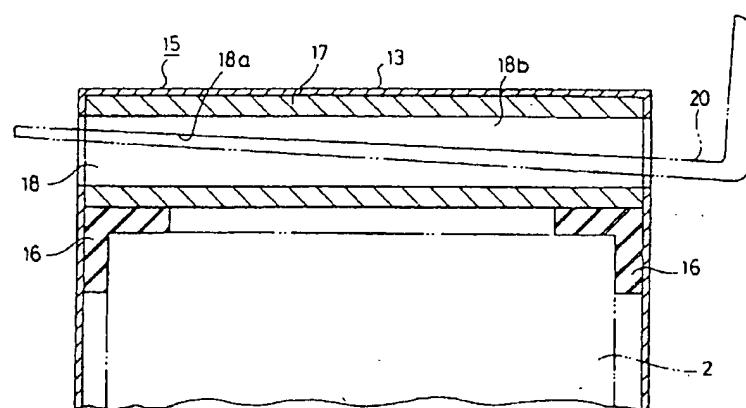
第1図



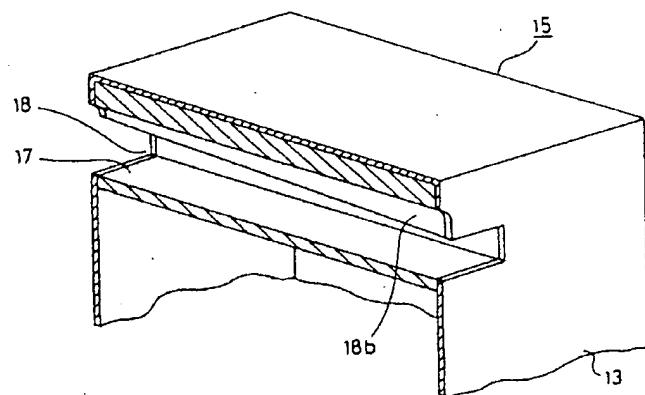
第2図



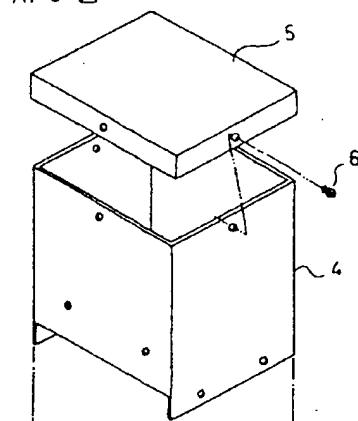
第3図



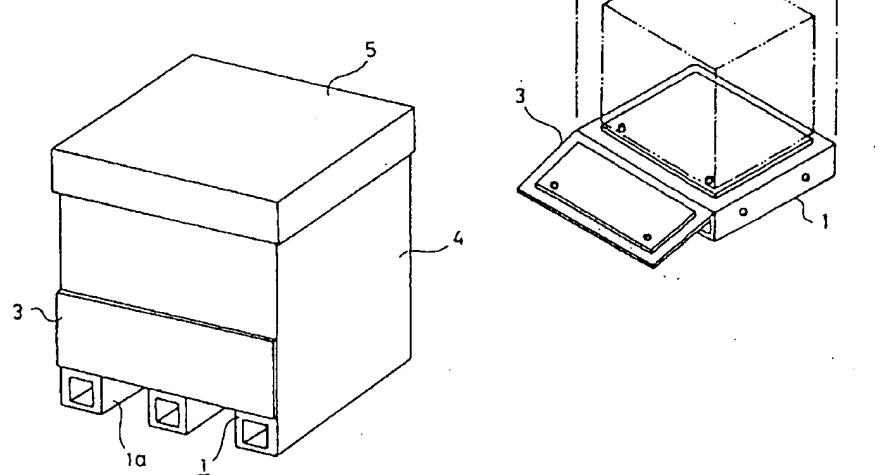
第4図



第5図



第6図



補正 平3.11.14

考案の名称を次のように補正する。

④考案の名称 包装装置

実用新案登録請求の範囲、図面の簡単な説明を次のように補正する。

⑦実用新案登録請求の範囲

被包装物を収容する容器本体を備えている包装装置において、前記容器本体内の上部に補強材が設けられるとともに、前記容器本体の壁面と前記補強材とを貫通した複数の貫通孔が設けられていることを特徴とする包装装置。

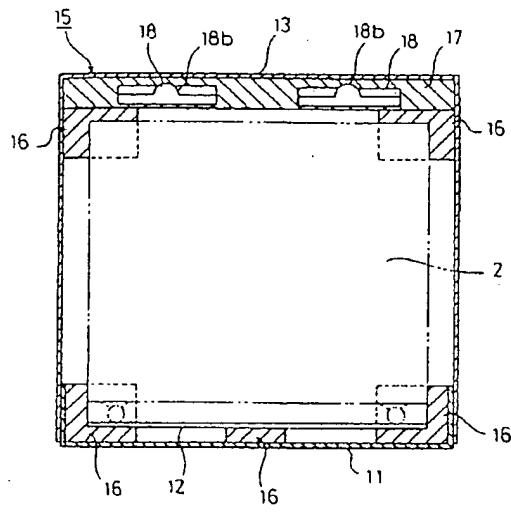
図面を次のように補正する。

図面の簡単な説明

第1図はこの考案の一実施例による包装装置の断面図、第2図は第1図の包装装置をフォークリフトにより支持した状態を示す斜視図、第3図は第2図の要部断面図、第4図は第1図の包装装置の要部を切断して示す斜視図、第5図は従来例を示す分解斜視図、第6図は第5図の組立状態を示す斜視図である。

図において、2は被包装物、15は容器本体、17は補強材、18は貫通孔である。なお、各図中、同一符号は同一又は相当部分を示す。

第1図



2 : 被包装物

15 : 容器本体

17 : 補強材

18 : 貫通孔